

『「粘り強さ」を育む幼児理解シート』について

「粘り強さ」を育む幼児理解シート
日付：令和3年 月 日 時 分～ 時 分
対象： 歳児名前：
ねらい：
◆遊びの場面：
①試行錯誤の表出状況

幼児の行動	気付く □□□	分かる □□□	挑戦する□□□
	試す □□□	工夫する□□□	実現する□□□

②教師が読み取る幼児の思い
①を踏まえて読み取った幼児の思い
うまくいかないこと、諦めること → 予想される幼児の思い

③明日の遊びの指導のポイント

教師の指導	気付く	分かる	挑戦する
	試す	工夫する	実現する

使い方

- ・ 幼児一人の、ひとまとまりの自発的な活動としての遊びにつき、10分程度で1枚記録する。

活用方法

- ・ 学級担任が保育終了後に、幼児の様子と指導を振り返る。
- ・ 教職員が保育観察時に、幼児の様子と教師の指導を記録する。

『「粘り強さ」を育む幼児理解シート』を継続して活用することで、教師は幼児理解を深め、有効な指導を見いだすことができます。また、教職員間で、幼児の実態や行動の傾向について、共有することができます。

そして、幼児は、自分の思いを実現しながら遊ぶ楽しさを味わい、粘り強く取り組むようになることが期待できます。

シート記入時の補助資料

①を記録する際の、補助資料「試行錯誤する際に見られる行動」です。最初は以下の資料を参考に、自発的な活動としての遊びにおける幼児の行動を捉え、慣れてきたら自分で分類します。

<試行錯誤する際に見られる行動と幼児の発言の例>

幼児の行動	内容	幼児の発言例
気付く	気に留めていなかったことを意識すること。	「あっ」「そっか」など。
分かる	対象の意味や内容を理解すること。	「○○っていうことか」など。
挑戦する	難しいことでもやってみようとする。	「もう一回○○する」など。
試す	いろいろな方法で取り組むこと。	「もっと」「次は」など。
工夫する	うまくいか考えて取り組むこと。	「どうしたら○○かな」など。
実現する	やりたいことやめあてを達成すること。	「できた」「先生、見て」など。

「粘り強さ」を育む幼児理解シート 記入例と解説

日付：令和4年5月10日（火曜日）9：30 ～9：55

対象：5歳児 名前：豊島 花子

遊びの場面：お店ごっこ

ねらい：見立てたり、なりきったりして遊ぶことを楽しむ。

学級のねらいを踏まえ、一人一人に即したねらいを立てます。

①試行錯誤の表出状況

幼 児 の 行 動	気付く <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	分かる <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	挑戦する <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	「お客さん来ないかな。」		
	試す <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	工夫する <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	実現する <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	・「いらっしゃいませ。」 ・食べ物を並べる。	皿やフォーク等も用意する。	友達が食べ物を食べにくる。

左から、遊びの始め、中頃、終わりを目安に、表出が見られた時に☒をします。

幼児の具体的な行動（発言、動き、しぐさ、表情など）を記録します。発言は、「」のみで書きます。

②教師が読み取った幼児の思い

①を踏まえて読み取った幼児の思い
お客さんにお店に来てほしい。
うまくいかないこと、諦めること
お客さんが、なかなか来ない。

予想される
幼児の思い
「レストラン」に食べに来てほしい。

当日の幼児の様子を踏まえて、翌日の幼児の思いを予想します。

上段では当日の幼児の思いを読み取り、下段では、うまくいかない、難しい、諦める、やめることなどを記入します。どちらも、幼児の行動に即して捉えられるようにします。

③明日の遊びの指導のポイント

指 導 の 工 夫	気付く	分かる	挑戦する
	お店が題材の絵本を、棚に入れておく。		
	試す	工夫する	実現する
	「何のお店かな」と、具体的なイメージを聞く。		

表出を促したい行動に応じて、指導を計画します。端的に書くことで、実践と振り返りがしやすくなります。